

夢づくりプラン策定に当たっての県民意識調査の結果について

1 調査概要

- (1) 調査対象 岡山県内在住の20歳以上の男女2,500人
- (2) 調査方法 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送
- (3) 調査時期 平成23年2月16日(水)～3月3日(木)
- (4) 回答者数 1,669人(回答率 66.8%)

2 調査結果のポイント

- (1) プランでの取組への評価(満足度)について(上位項目)

得点(平均点)の分布は2.65~3.26となっており、得点の高い項目は以下のとおりである。

・食の安心・安全及び食育の推進	(3.26)
・スポーツの振興	(3.25)
・文化の振興	(3.23)
・健康づくりの推進	(3.23)

(注)得点は「満足している」5点～「不満である」1点の中から選択したもの

- (2) 今後の県政等について

ア 今後の目指すべき県の姿(上位項目・複数回答)

医療、福祉や防犯など「安全・安心」に関する項目に大きな期待が寄せられるとともに、「産業・経済活性化」や「環境」、「文化・スポーツ」に関する項目も上位となっている。

・医療体制や福祉サービスが充実した地域	(75.4%)
・犯罪や事故が少なく、安全で安心して暮らせる地域	(67.9%)
・安心して子どもを生み、健やかに育てられる地域	(51.1%)
・通勤・通学、通院、買物など交通が便利で日常生活がしやすい地域	(44.8%)
・産業が発展し、経済が活性化している地域	(43.4%)
・元気な高齢者が活躍する地域	(34.2%)
・環境に配慮した潤い豊かな地域	(23.8%)
・文化、スポーツ、学習活動が生涯楽しめる地域	(22.0%)

- イ 今後5年間に重点的に取り組む必要がある項目(上位項目・複数回答)

アと同様に「安全・安心」に関する項目が上位にあり、特に子育て環境や医療体制の整備への期待が大きくなっている。

・安心して子どもを産み育てる環境づくり	(49.6%)
・医療体制の整備	(45.9%)
・犯罪のない安全で安心な社会づくり	(37.0%)
・高齢者が健康で生活ができる社会づくり	(29.4%)
・誰もが生き生きと働くことができる環境づくり	(27.0%)

- ウ 日常生活で不安に思っていること(上位項目・複数回答)

ア、イと同様に福祉、医療や防災など「安全・安心」に関する項目が上位となっている。

・老後の生活	(58.2%)
・自分や家族の健康	(49.9%)
・雇用・収入	(38.4%)
・家族などの介護	(23.4%)
・地震などの自然災害の発生	(21.3%)

**夢づくりプラン策定に当たっての
県民意識調査結果**

**平成23年5月
岡山県**

回答者の属性

(1) 性別及び年齢階層

下段（ ）内の単位：％

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	無回答	計
男性	61 (3.7)	101 (6.1)	91 (5.5)	98 (5.9)	162 (9.7)	158 (9.5)	—	671 (40.2)
女性	79 (4.7)	152 (9.1)	153 (9.2)	147 (8.8)	217 (13.0)	208 (12.5)	2 (0.1)	958 (57.4)
無回答	—	1 (0.1)	—	1 (0.1)	5 (0.3)	16 (1.0)	17 (1.0)	40 (2.4)
計	140 (8.4)	254 (15.2)	244 (14.6)	246 (14.7)	384 (23.0)	382 (22.9)	19 (1.1)	1,669 (100)

(2) 住所地

下段（ ）内の単位：％

市町村	回答者数	市町村	回答者数	市町村	回答者数	市町村	回答者数
岡山市	554 (33.2)	新見市	28 (1.7)	早島町	12 (0.7)	久米南町	5 (0.3)
倉敷市	393 (23.5)	備前市	39 (2.3)	里庄町	10 (0.6)	美咲町	20 (1.2)
津山市	88 (5.3)	瀬戸内市	26 (1.6)	矢掛町	10 (0.6)	吉備中央町	16 (1.0)
玉野市	59 (3.5)	赤磐市	37 (2.2)	新庄村	2 (0.1)	無回答	17 (1.0)
笠岡市	49 (2.9)	真庭市	57 (3.4)	鏡野町	11 (0.7)	(合計)	1,669 (100)
井原市	38 (2.3)	美作市	28 (1.7)	勝央町	11 (0.7)		
総社市	58 (3.5)	浅口市	37 (2.2)	奈義町	5 (0.3)		
高梁市	39 (2.3)	和気町	17 (1.0)	西粟倉村	3 (0.2)		

※ 比率はすべて小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100％にならないことがある。

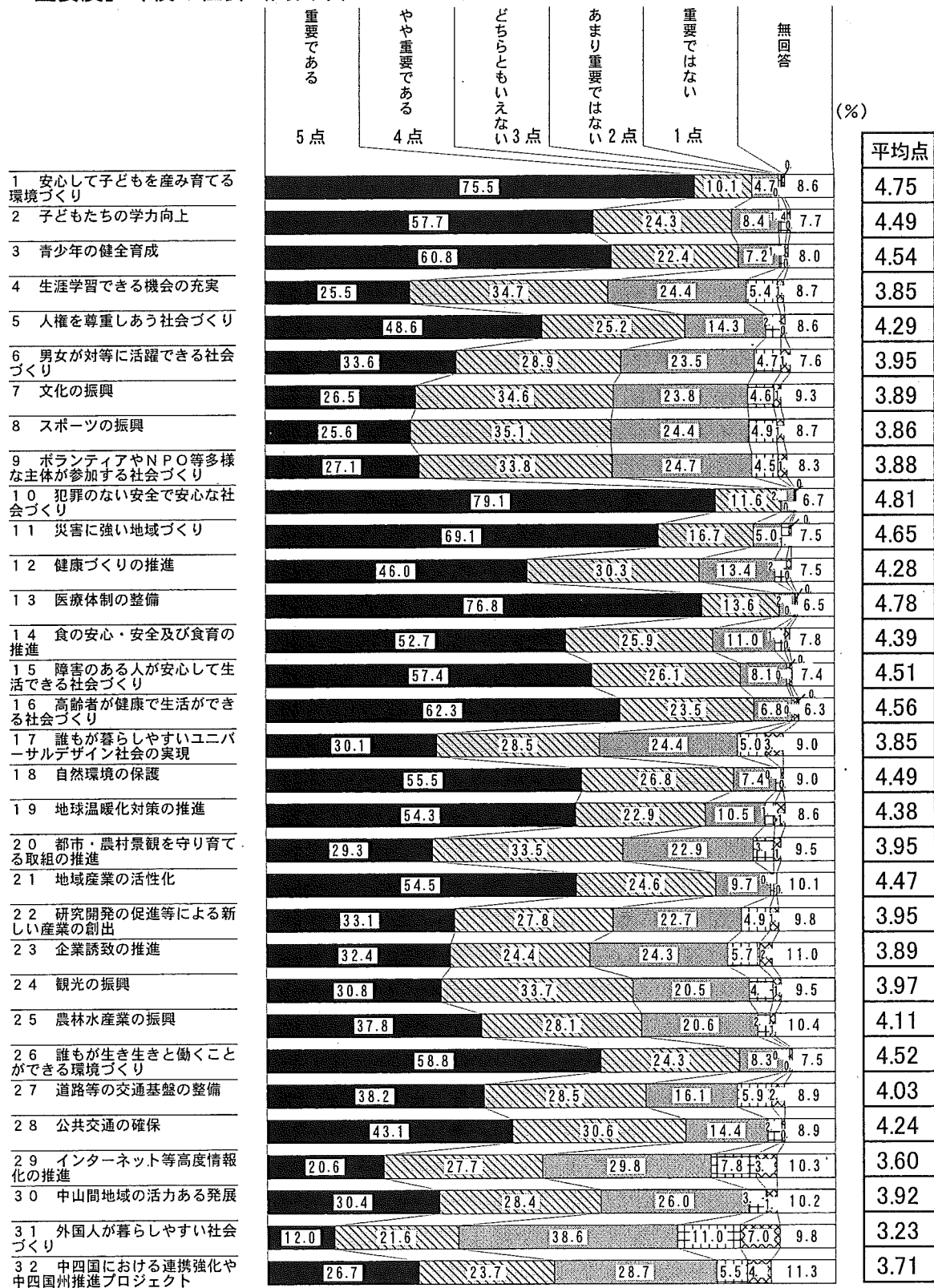
調査結果

1 プランでの取組の評価について

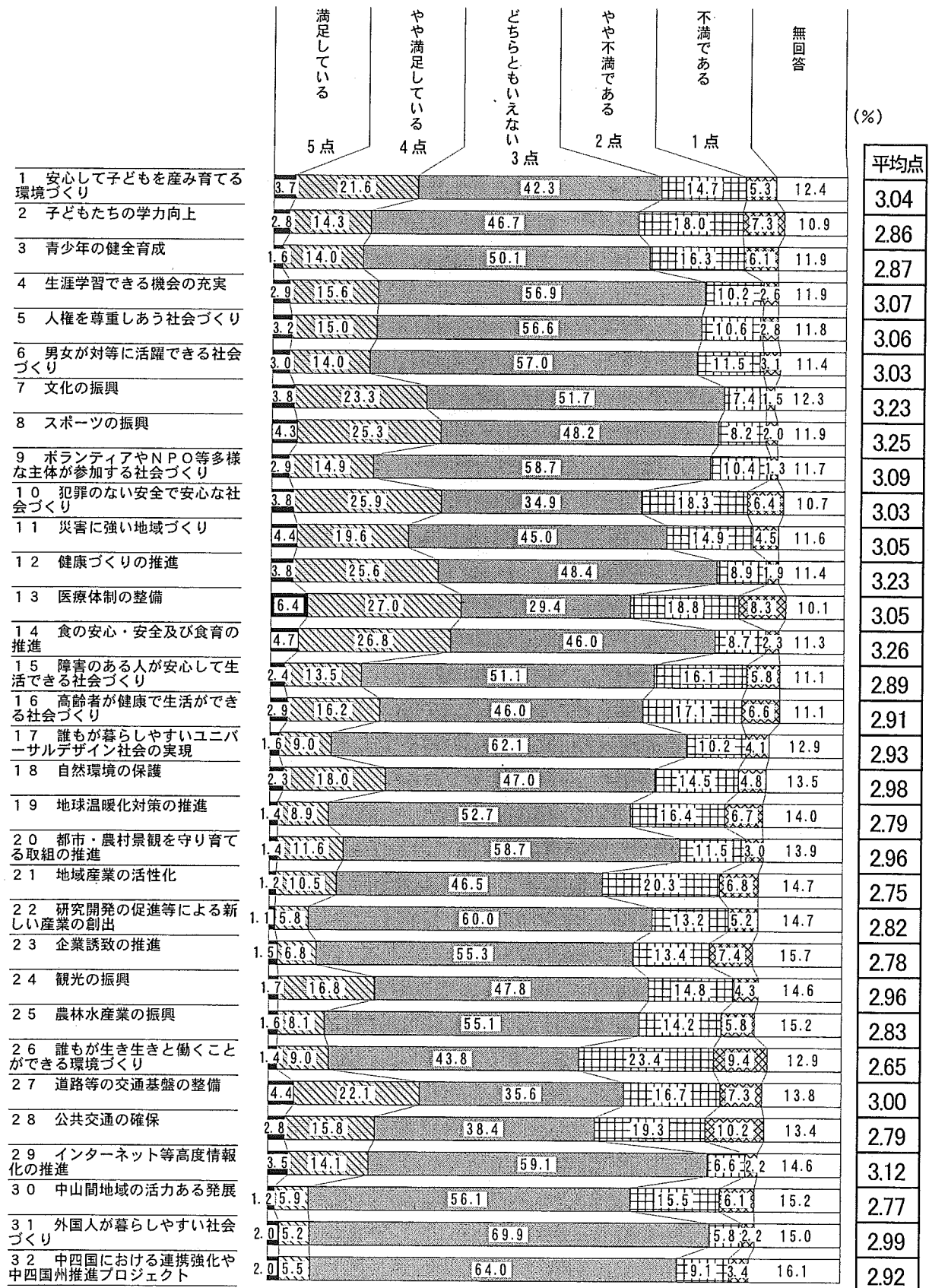
① 中期5カ年計画の評価

問 岡山県では中期5カ年計画（「新おかやま夢づくりプラン」）を策定し、主に以下の項目について取り組んでいます。

「A 重要度」今後の社会（岡山県）にとって、どのくらい重要だと考えていますか？



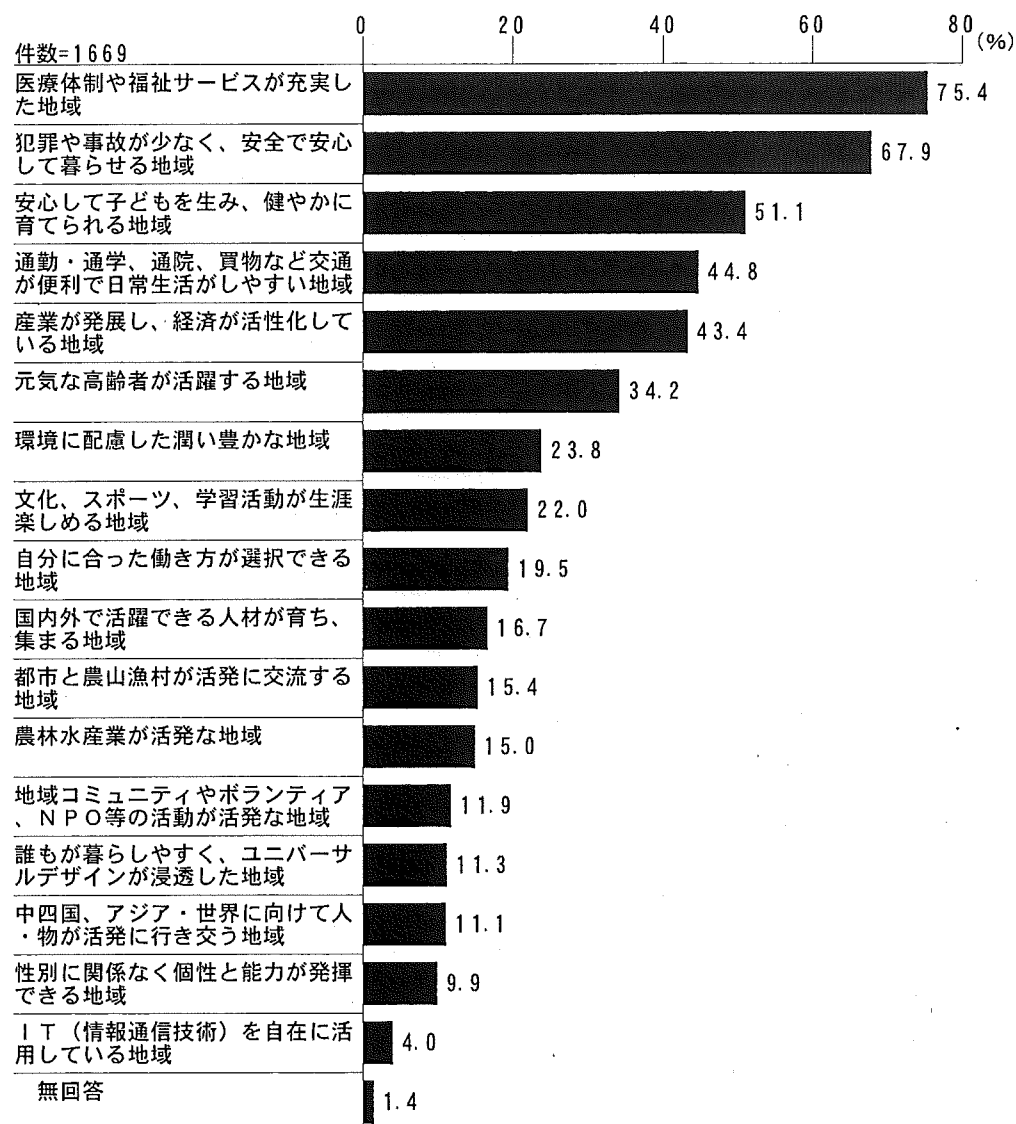
「B 満足度」現状に対してどのくらい満足していますか？



2 今後の県政等について

① 今後の目指すべき県の姿

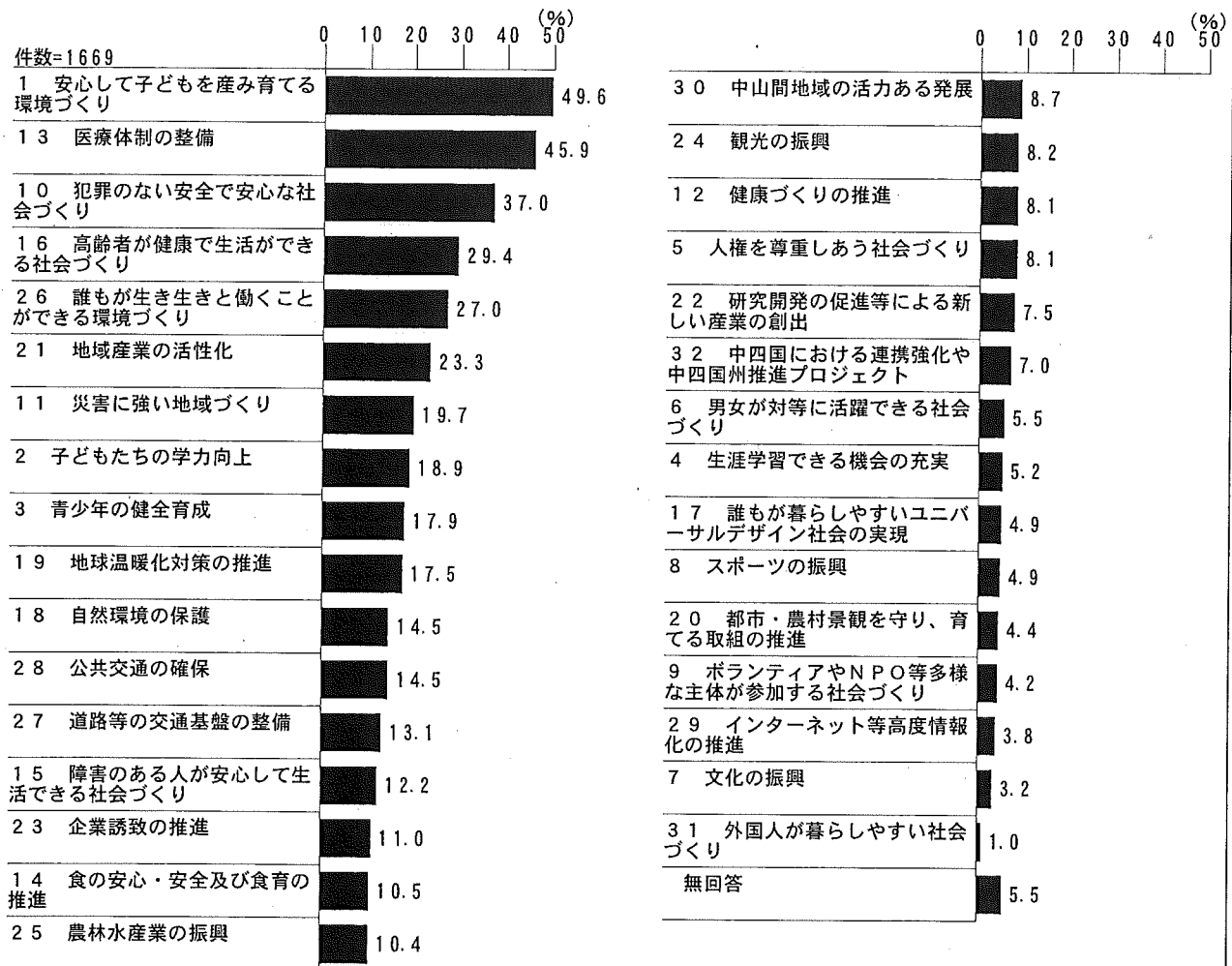
問 あなたは、これからの岡山県はどのような地域を目指すことが大切だと思いますか。上記のうち、あてはまる番号を5つ以内で選び、その番号を下の欄に記入してください。



「医療体制や福祉サービスが充実した地域」が75.4%で最も多く、以下「犯罪や事故が少なく、安全で安心して暮らせる地域」(67.9%)、「安心して子どもを生み、健やかに育てられる地域」(51.1%)、「通勤・通学、通院、買物など交通が便利で日常生活がしやすい地域」(44.8%)、「産業が発展し、経済が活性化している地域」(43.4%)、「元気な高齢者が活躍する地域」(34.2%)、「環境に配慮した潤い豊かな地域」(23.8%)、「文化、スポーツ、学習活動が生涯楽しめる地域」(22.0%)と続いている。

② 今後5年間に重点的に取り組む必要がある項目

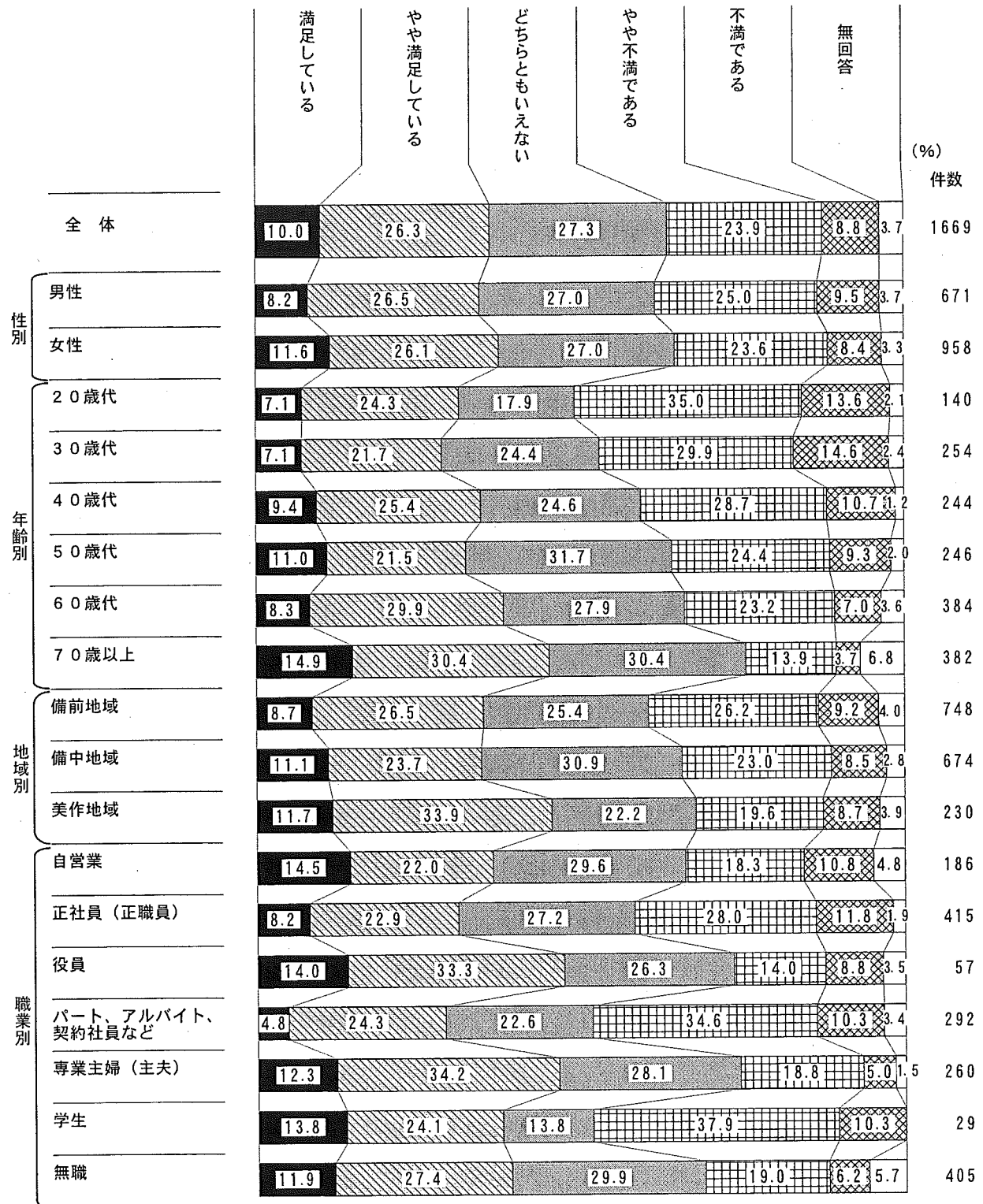
問 今後5年間に重点的に取り組む必要がある項目はどれですか。1~32の項目のうち、あてはまる番号を5つ以内で選び、その番号を下の欄に記入してください。



「1 安心して子どもを産み育てる環境づくり」が49.6%で最も多く、以下「13 医療体制の整備」(45.9%)、「10 犯罪のない安全で安心な社会づくり」(37.0%)、「16 高齢者が健康で生活ができる社会づくり」(29.4%)、「26 誰もが生き生きと働くことができる環境づくり」(27.0%)、「21 地域産業の活性化」(23.3%)と続いている。

③ 日常生活全般についての満足度

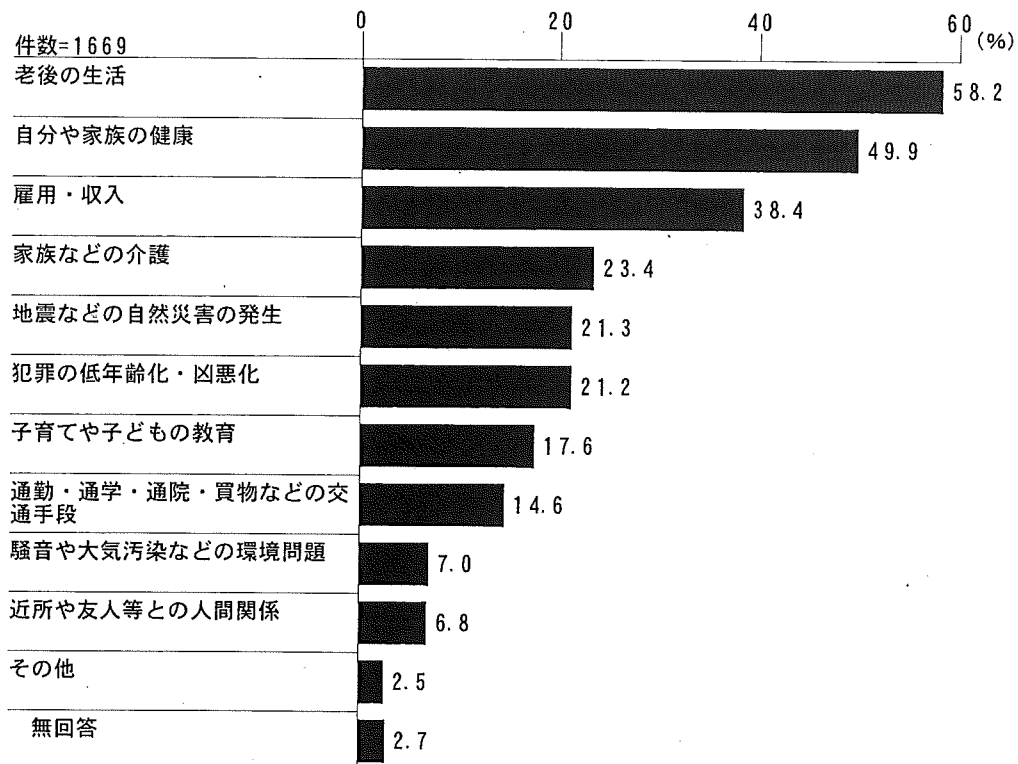
問 あなたは、現在の生活全般について、どのように感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



「満足している」「やや満足している」を合算した割合は36.3%、一方、「不満である」「やや不満である」を合算した割合は32.7%で、満足している割合が3.6ポイント上回っている。

④ 日常生活で不安に思っていること

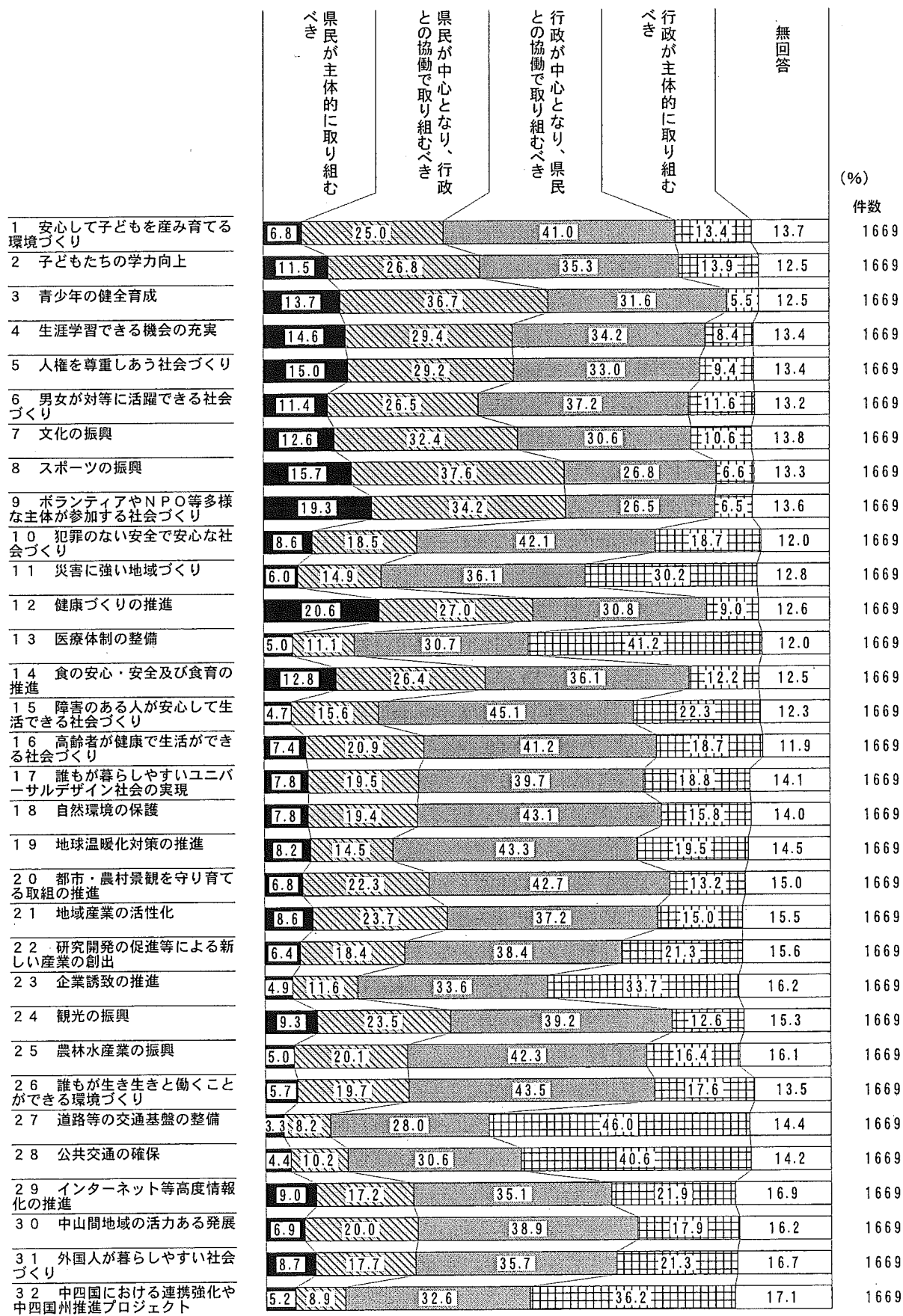
問 あなたが、日常生活で現在、不安に思っていることは何ですか。あてはまる番号を3つ以内で選び、○をつけてください。



「老後の生活」が58.2%で最も多く、以下「自分や家族の健康」(49.9%)、「雇用・収入」(38.4%)、「家族などの介護」(23.4%)、「地震などの自然災害の発生」(21.3%)、「犯罪の低年齢化・凶悪化」(21.2%)と続いている。

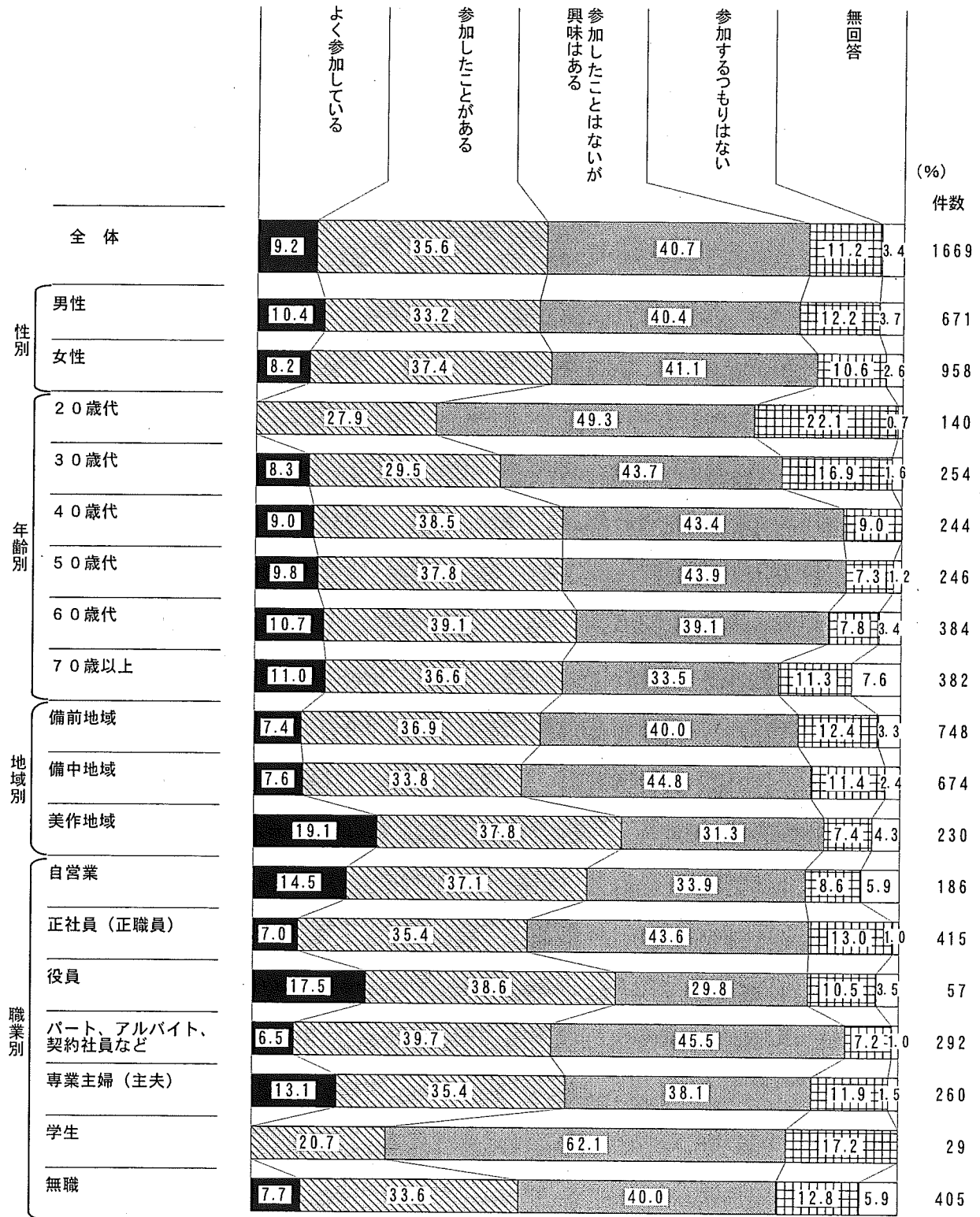
⑤ 県民と行政との役割分担

「役割分担」県民と行政との役割分担をどのように考えていますか？



⑥ 地域活動・ボランティア活動やNPO活動への参加経験

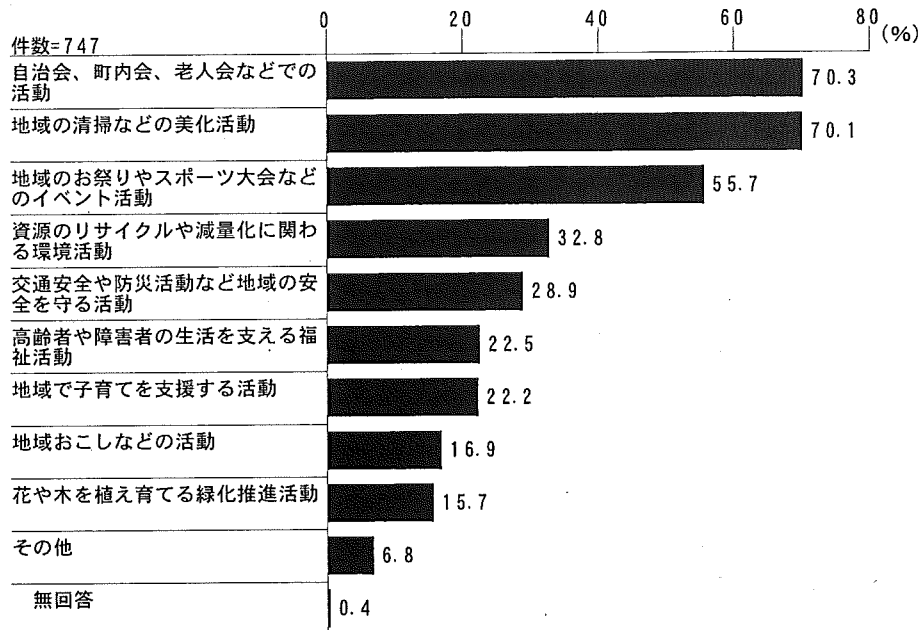
問 人口減少が進行する中で、上記のような日常生活の不安を取り除くための方法の一つとして、共に支え合う「共助」という考え方が大切だと言われています。そのような活動として、あなたはこれまで地域活動・ボランティア活動やNPO活動などに参加したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



「よく参加している」(9.2%)、「参加したことがある」(35.6%)と参加経験者は44.8%と半数に満たない。一方、「参加したことはないが興味はある」(40.7%)、「参加するつもりはない」(11.2%)となっている。

⑦ 活動内容

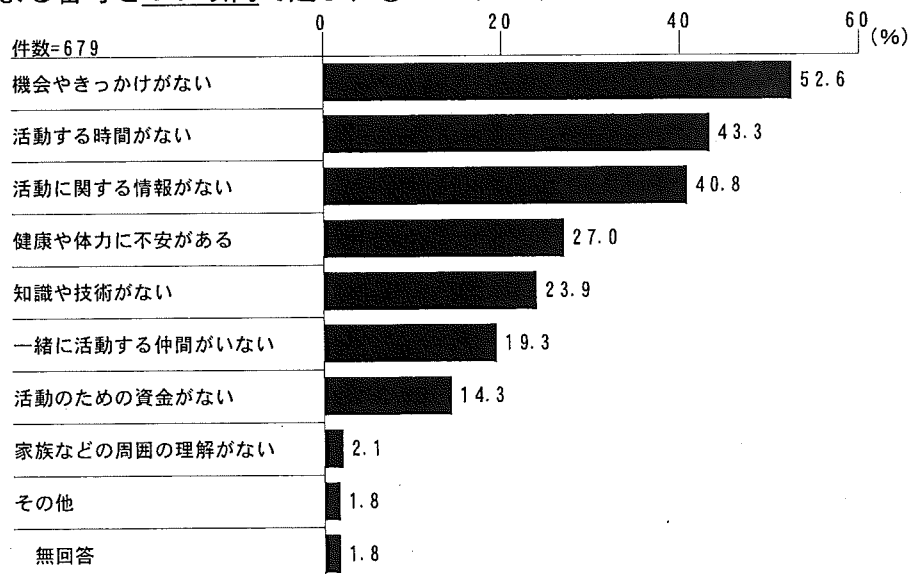
問 前問で「よく参加している」「参加したことがある」と回答した方にお聞きします。今までどのような活動に参加しましたか。あてはまる番号をすべて選び、○をつけてください。



「自治会、町内会、老人会などでの活動」(70.3%)、「地域の清掃などの美化活動」(70.1%)が多く、以下「地域のお祭りやスポーツ大会などのイベント活動」(55.7%)、「資源のリサイクルや減量化に関わる環境活動」(32.8%)、「交通安全や防災活動など地域の安全を守る活動」(28.9%)と続いている。

⑧ 興味はあるが参加したことがない理由

問 前々問で「参加したことがないが興味がある」と回答した方にお聞きします。その理由としてあてはまる番号を3つ以内で選び、○をつけてください。



「機会やきっかけがない」が52.6%で最も多く、以下「活動する時間がない」(43.3%)、「活動に関する情報がない」(40.8%)、「健康や体力に不安がある」(27.0%)、「知識や技術がない」(23.9%)と続いている。